

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第24週（6月14日～6月20日）

今週のコメント

～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 さらに減少」

第24週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,634例であり、前週比6.6%減であった。定点あたり報告数の第1位はRSウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.76、2.69、0.63、0.45、0.35である。

RSウイルス感染症は前週比9%減の737例で、南河内6.38、大阪市西部5.60、泉州5.58、豊能4.96、三島4.71であった。

感染性胃腸炎は6%減の528例で、大阪市南部4.00、中河内3.70、南河内3.25である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は13%減の124例で、中河内2.00、大阪市南部1.17、南河内0.81であった。

咽頭結膜熱は2%減の88例で、中河内0.80、大阪市北部0.79、泉州0.74である。

RSウイルス感染症

感染性胃腸炎

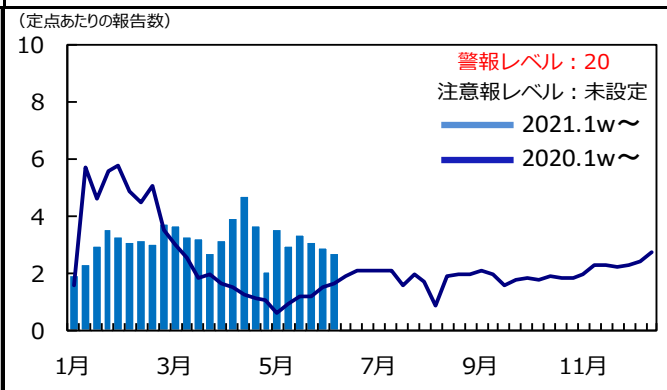
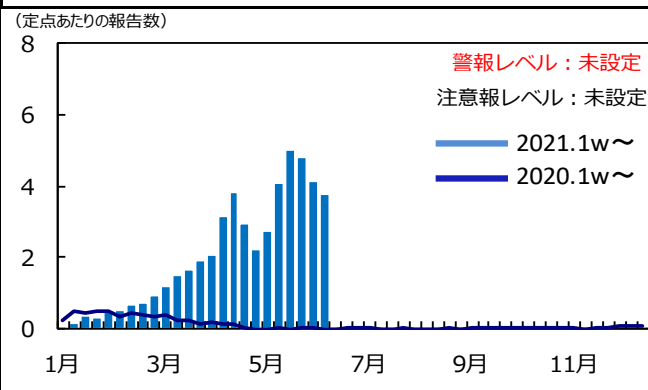


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第24週6月14日～6月20日）

第24週の順位	第23週の順位	感染症	2021年 第24週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2020年 第24週の 定点あたり 報告数	2021年第24週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	RSウイルス感染症	3.76	9%減	0.01	1歳_29%
2	2	感染性胃腸炎	2.69	6%減	1.67	1歳_18%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	13%減	0.48	2歳_17%
4	4	咽頭結膜熱	0.45	2%減	0.08	1歳_44%
5	5	突発性発しん	0.35	1%減	0.61	1歳_50%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021年第10週まででインフルエンザのコメントを終了しました。

第24週のコメント

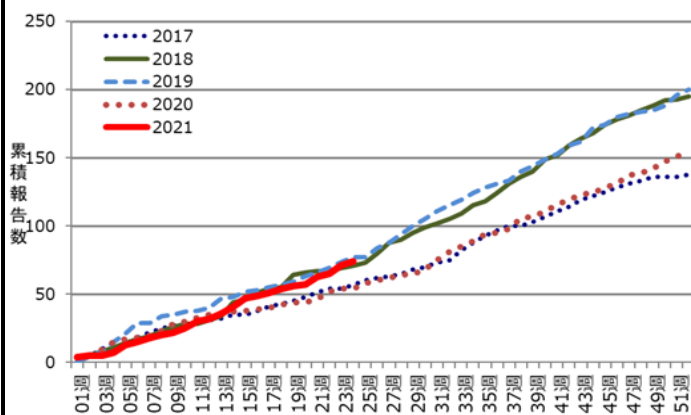
～カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症～

2014年9月、5類全数把握感染症となり、感染症発生動向調査では、全国で年間1,500例を超える報告があります

全数把握感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称である。広域β-ラクタム系抗菌薬以外に、他の抗菌薬にも耐性であることが多く、カルバペネム耐性遺伝子がプラスミドの伝達により複数の菌種に拡散していくことから、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。米国では、この10年間にCREの菌種全般の検出数は4倍に増加しており、国際的にも発生動向が注視されている。



[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[カルバペネム耐性腸内細菌感染症 \(感染症研究所\)](#)

表 2. 大阪府全数報告数（2021年 第24週6月14日～6月20日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内							府内累積報告数	
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州		大阪市
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1	33
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	3				1	1			1	40
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3		1				1		1	74
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1								18
	侵襲性肺炎球菌感染症	3								3	49
	梅毒	4			1				1	1	306
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1								12
新型インフルエンザ等	新型コロナウイルス感染症	666	2020年1月以降累計 102,440								
結核 (2021年4月分)	結核 新登録患者数：43名		(内 肺・喀痰塗抹陽性 17名)								
			(府内累積報告数 276名、内 肺・喀痰塗抹陽性 94名)								

(2021年6月22日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。](#)